

浜松市議会議員

田口 章

後援会  
だより

お気軽にどうぞ  
昼 053 - 447 - 3820  
夜 053 - 440 - 7100

平成 21 年 3 月 7 日

創ろう！元気な浜松

# 「選択と集中」で「身の丈」に合った予算に

## 浜松市 平成 21 年度 予算案のポイント

総予算 4495 億円 (20 年度 4664 億円 169 億円 3.6%)

- ・ 企業でいえば「連結」に相当します。
- ・ 一般会計(2546 億) + 特別会計(1914 億) + 企業会計(748 億) - 重複分(712 億)  
特別会計…「国民健康保険」、「介護保険」、「オートレース」など  
企業会計…「病院」、「水道」、「下水道」、「国民宿舎」
- ・ 平成 20 年度に比べて、大幅減となっています。しかし「身の丈」とも言えます。
- ・ 「一般会計」については後述しますが、「企業会計」の最大の減額要因は、「上下水道の借金の繰上返済が一段落したこと」であり、事業そのものの規模が縮小しているわけではありません。
- ・ 「景気対策として、借金してでも財政出動すべき」という意見もありますが、私は、一地方自治体でできる財政出動には限界がありますし、昔のように「箱モノ」を作ればよいという時代ではないと思います。
- ・ 「使ったお金の大きさ」で仕事をしたかどうかを評価するのではなく、いかに実質的に市民サービスが向上したかを評価すべきではないでしょうか。

一般会計予算 2546 億円

(20 年度 2668 億円 122 億円 4.6%)

総市債残高(一般会計の借金)

- ・ 20 年度末見込み 5447 億円 から、  
21 年度末見込み 5337 億円 に 110 億円の減
- ・ 厳しい中でも、中期財政計画の  
「H26 年度末に 5000 億円未満」に向け着実に減。

基金(貯金)

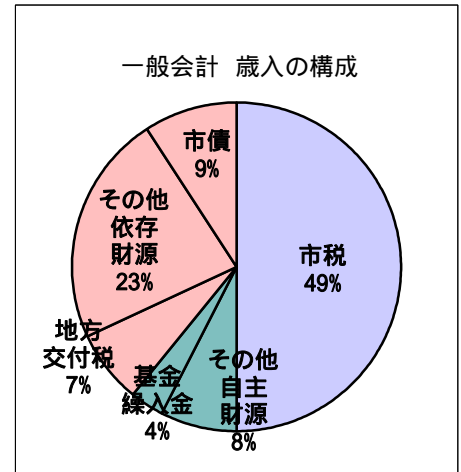
- ・ 20 年度末見込み 273 億円 21 年度末見込み 198 億円 ( 75 億円)
- ・ 厳しい税収の中で、貯金を取り崩さざるを得ない状況。



# 一般会計のポイント

## 1. 歳入の特徴

最大の自主財源である市税が 102 億円の減。  
特に法人市民税( 85.5 億円)が大幅減。  
そのため地方交付税は増えるが、  
国・県からの交付金など(依存財源)も減っており、  
基金繰入金(貯金取り崩し)や市債(借金)でカバー。

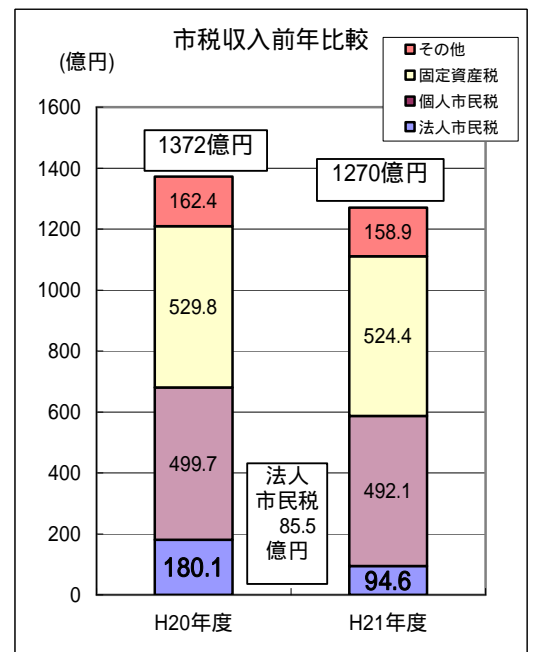


### 市税 1270 億円 (1372 億円 - 102 億円)

法人市民税	94.6 億円 (180.1 億円 - 85.5 億円)
個人市民税	492.1 億円 (499.7 億円 - 7.6 億円)
固定資産税	524.4 億円 (529.8 億円 - 4.4 億円)
市たばこ税	41.1 億円 (46.5 億円 - 5.4 億円)
軽自動車税	13.6 億円 (13.4 億円 + 0.2 億円)

など

- ・ 「法人市民税」は、85 億円の減( 47.5%)と大幅減になります。ちなみに、愛知県田原市は前年度比 93% 減を見込んでいます。
- ・ 「個人市民税」は、20 年度の 499 億円に対し、492 億円と、7 億円を見込んでいます。「前年の所得」に対して課税されるため、21 年度は大きな影響は出ていませんが、昨今の労働情勢を考えると、22 年度の落ち込みが懸念されます。



### 基金繰入金 90 億円 (28 億円 + 62 億円)

- ・ 基金は「貯金」のことです。「基金繰り入れ」とは「貯金の取り崩し」のことです。
- ・ 浜松市は平成 20 年度末で、273 億円の貯金を見込んでいますが、税収減による財源確保のために、これを当てることになったということです。

### 地方交付税 177 億円 (149 億円 + 28 億円)

- ・ 地方交付税は、地方自治体の財政力に応じて国により調整される財源です。来年度の浜松市は、税収減により自主財源が減るため、その分、地方交付税は増えることになります。
- ・ 現在、「合併算定替」という特例措置により、本来の基準額より多く交付されていますが、平成 26 年度までの措置ですので、あまり当てにしていると、数年後に痛い目を見ることになります。

### 市債 236 億円 (229 億円 + 7 億円)

通常の市債	87.4 億円 (118.6 億円 - 31.2 億円)
合併特例債・推進債	64.0 億円 ( 50.5 億円 + 13.5 億円)
臨時財政対策債	84.5 億円 ( 59.7 億円 + 24.8 億円)

- ・ 市債は「借金」のことです。道路や建物などは、完成後の将来世代にも「応分の負担をせよ」という視点で、市債を発行して造っています。ある程度仕方ないとは思いますが、「子孫にツケを残さない」という視点が大切ではないでしょうか。

- ・ 合併の際には「合併特例債」、「合併推進債」という市債を発行できます。後年度、それぞれ70%、50%を国に負担してもらえと言われてはいますが、借金に変わりはありません。また「臨時財政対策債」は、「地方交付税」の財源が足りないとき、地方自治体が独自に借金をして、後年度100%国が交付税として措置する(負担する)というもので、建設事業以外にも使えます。しかし、今の国家財政を考えれば、「国が負担する」とは言うものの…ちょっと心配です。
- ・ 今年度予算は、市税を中心とした自主財源の減収の中、「市債」の発行を抑え、できるだけ借金をしないように努めた努力はうかがえます。今後、数年間はキビしい状況が続くと思われます。

## 2. 歳出の特徴

### 義務的経費 1220 億円 (1236 億円 16 億円)

人件費 482.9 億円 (499.6 億円 16.7 億円)

扶助費 372.6 億円 (362.1 億円 + 10.5 億円)

公債費 364.5 億円 (374.5 億円 10.0 億円)

- ・ 義務的経費は、「どうしても必要なおカネ」のことで、人件費や扶助費(福祉のおカネ)、公債費(借金返済)がこれにあたります。
- ・ 自主財源の柱である「市税」収入とほぼ同水準となります。すなわち、今のままでは「税金は必要経費にすべて消えていく」ということです。
- ・ 少子高齢化の中、扶助費が減ることはないでしょう。たとえば、当初予算では、「生活保護費」を前年並みに見っていますが、今の社会情勢を見ると、もっと増えるのではないのでしょうか。
- ・ 人件費を減らすことや、新たな借金をしないことが大切になります。

### 投資的経費 464 億円 (596 億円 132 億円)

- ・ 歳入減の影響を大きく受けています。
- ・ 平成20年度は、新水泳場・清掃工場や高丘工場用地など、約100億円の“特殊要因”がありましたので、132億円といっても、市民サービスが大幅に低下するということではありません。
- ・ しかし、今後、道路整備など土木事業の計画見直しは必要になると考えられます。

### 目的別歳出

- ・ 増えているもの

民生費 603 億円 630 億円 (+27 億円)

総務費 362 億円 398 億円 (+36 億円)

教育費 200 億円 204 億円 (+ 4 億円)

- ・ 減っているもの

衛生費 266 億円 200 億円 ( 66 億円)

商工費 81 億円 50 億円 ( 31 億円)

土木費 549 億円 477 億円 ( 72 億円)

- ・ 「総務費」は35.7億円の増、「民生費」は28.5億円の増となっています。「教育費」も前年比+4.7億円と確保されており、厳しい中ではありますが、市長の姿勢がよく伝わってきます。
- ・ 一方、「土木費」は72.5億円減っています。なお「衛生費」が65.7億円、「商工費」が31.5億円的大幅減になっていますが、これは上記の特殊要因分です。

### 3. 私の感想

限られた紙面では、個別の取り組みをお伝えすることはできませんが、予算全体は、市長の施政方針どおり「選択と集中」に取り組み、「こども第一主義」に沿った子育て支援の充実や、「生活分野での見える化」を進めています。

安易に借金に走ることもムリな歳出増も図らず、全体的には「身の丈」に合った適正な予算だと考えます。

一方、行革審から指摘のあった「補助金の見直し」は、踏み込みが少し甘いように見えます。団体への補助を、一律 15%、30%という手法でカットしていますが、これはあまり好ましい手法ではないと思います。

事業の評価をしっかりとやって、適正な判断をすべきではないでしょうか。事業評価(モニタリング)は、委託事業、補助金、指定管理者などすべての業務に必要です。

こうしたことは議会の課題として、今後取り組んでいきます。

なお、厳しい財政の中、「賃金カットしてはどうか」、とのご意見をいただくこともあります。私は「賃金カット」より先に「時間外労働の見直し」が必要だと思います。

月額 30 万円の賃金を 5%カットすれば、月 15000 円、年間 18 万円の財政効果があります。しかし、職員のモチベーションは上がりません。

一方、一般職(5528 人)の時間外手当を見ると、予算 16.6 億円となっています。

年間一人平均 30 万円となりますが、業務の効率化などで、これを半分にできれば、同等の財政効果が得られます。逆に、賃金カットをしても、残業が増えれば意味はありません。

今、民間企業では、できる限りの業務効率化により、時間外コストの削減に努めています。予算は予算でかまいませんが、この部分のチェックを継続的にやっていこうと考えています。

目的別歳出の詳細は、3/12-13 の委員会で審議されます。私は、建設委員会所管の分野を重点的に見ていきますが、2 月の各種研修で得た知識も使いながら、ムダの削減につなげていきたいと考えています。

予算関連資料は浜松市のサイトからご覧ください

<http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/admin/finance/budget21/top.htm>

【編集後記】 予算書を見るとまだまだわからないことばかりです。その都度担当者に話を聞き、ひとつひとつ理解を深めています。いつまでも「新人議員だから」と甘えてはいけませんが、早くマスターしなきゃ・・・と、反省しきりです。

2 月は欲張って「研修」に行きました。内容はすべてブログで報告しています。「公会計の実践」や「家庭教育」など、参考になる事項がたくさんありました。よろしければご覧ください。(章)

< 創ろう！元気な浜松 【浜松市議会議員 田口章】 >

<http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/>

## 2 月の活動報告

- 01(日) 浜松西政経フォーラム総会
- 02(月) 至誠会勉強会
- 03(火) 入っ子まつり(入野小学校)  
スズキ労連中央委員会
- 05(木) 多文化共生勉強会
- 07(土) 新水泳場・清掃工場竣工式  
都市問題公開講座(東京)
- 08(日) 西区まつり・スズキ労組中央委員会  
入野地区自治会連合会会議
- 09(月) 建設委員会
- 10(火) コピキタシティフォーラム  
三遠南信議員総会
- 11(水) 建国記念の日式典
- 13(金) 全員協議会(議案配布)  
行革特別委員会勉強会
- 14(土)~15(日)自治政策特別講座(東京)
- 16(月) 富士社会教育センター  
「時事セミナー」(名古屋)
- 20(金) 本会議(初日)
- 22(日) 入野地区組発会式  
行革審傍聴
- 23(月) 建設委員会
- 24(火) 連合浜松意見交換会  
~25(水) 自治体監査セミナー(大阪)
- 26(木) 寝屋川市視察  
斉木武志を育てる会
- 27(金) 本会議 議案説明会
- 28(土) 健全育成会総会

## 3 月の活動予定

- 02(月) 議案説明会・本会議
- 04(水) 入野地区社会福祉協議会
- 08(日) 佐鳴湖クリーン作戦  
入野地区自治会連合会会議
- 09(月) 全員協議会・本会議
- 10(火) 本会議
- 11(水) 本会議
- 12(木) 建設委員会
- 15(日) 静岡文化芸術大学セミナー
- 18(水) 入野中学校卒業式
- 19(木) 入野小学校卒業式  
斉木武志を支える会
- 21(土) 入野保育園卒園式  
入野地区自治連期末総会
- 24(火) 全員協議会・本会議
- 25(水)~27(金) 行政視察
- 29(日) 入野地区組会所開き